

**「第2次愛荘町のち支え愛プラン(愛荘町自殺対策計画)(素案)」
に関する意見募集の結果について**

1 募集期間

令和5年12月11日(月)～令和5年12月28日(木) 18日間

2 資料閲覧・配布場所

- (1). 愛荘町役場 (愛知川庁舎情報コーナー、秦荘庁舎情報コーナー)
- (2). 図書館 (愛知川図書館、秦荘図書館)
- (3). 地域総合センター (長塚、川久保、山川原)
- (4). 福祉センター (ラポール秦荘、愛の郷)
- (5). 町ホームページ

3 御意見数 御意見を頂いた方の数：4人 意見の総数：5件

4 ご意見を頂いた方の属性

- (1) 町内に住所を有する方 2
 - 町内に通勤または通学されている方 1
 - 町内に事業所または事業所を有する方 1
- (3) 提出方法
 - 意見回収箱への投函

5 ご意見の内訳

- (1) 相談窓口について 1
- (2) ゲートキーパーの養成について 1
- (3) 計画全体について 2
- (4) 発達障がいからの二次障がいの予防について 1

6 ご意見への対応について

ご意見の内容	対応等
<p>【相談窓口について】</p> <p>自死を防ぐには、生きづらさを抱えている人を孤立させず、「話を聞いてもらえる」、「安心して相談できる」多様なチャンネルを作り、生きづらさを抱えている人と「つながる」ことが必要だと思う。</p> <p>愛荘町役場のホームページのトップ画面に「心の悩み」などを相談できる総合窓口のバナーをつけ、そこから直接相談もでき、また各種機関などが案内されているなど、生きづらさを抱える人の目につき、アクセスしやすいように工夫することもできるのではないかな。</p>	<p>基本施策2-⑤⑥において、住民への啓発と相談窓口の周知についての取り組みを挙げています。</p> <p>必要な方へ支援を届けるためにホームページやSNSを有効に活用し、アクセスしやすいよう、工夫して参ります。</p>

<p>【ゲートキーパーの養成について】</p> <p>自殺対策としてゲートキーパーの存在は重要であると位置づけ、ゲートキーパー養成の取り組みが実施されているが、第1期の実績は目標140人に対して89人で、そのうち職員は26人となっている。</p> <p>第2次プランでは地域・住民向けの養成講座の開催が記載されているが、自治体として地域住民や子どもたちと接する町の職員や教職員、保育士は、一人ひとりが基礎的な知識やスキルを身に付けることが必要なのではないかと思う。職員研修の科目としてゲートキーパーの講座を位置づけるなども取り組めるのではないか。</p>	<p>ご指摘のとおり、身近な人が気づき、声をかけ、つなぎ、見守るということを知ってもらうには、まず自治体職員が基本的な知識やスキルを身に付けておくことが必要だと考えております。新任職員の研修にゲートキーパーの養成を位置づける方向で計画を進める予定をして参ります。</p>
<p>【計画全般について】</p> <p>データ収集等良くまとめられていると思うが、一般町民にこれらの情報は全て必要なのか。もっと簡単に簡潔に興味を持ってもらえる様式にすべきだと思う。中身が複雑で読解しづらい。</p> <p>支え愛プランに多くの方が参加し理解と協力を得られる様にすべきだと思うし、また計画の推進に参加していただきたいし、関係機関の役割に対しても徹底して実行して欲しいと思う。色々な情報を収集しておられるので無駄にならない様に生かしていただき、結果を出していただきたい。</p>	<p>多くの方に計画を知っていただき、ご理解とご協力をお願いしたいと考えております。わかりやすく興味を持ってもらえるよう、計画の概要版を作成し、住民の皆様にご覧いただきたいと考えております。</p> <p>関係機関と連携をさらに強化して成果の出る事業実施に取り組みます。</p>
<p>【計画全般について】</p> <p>文字にすると見栄えはよいが、言葉遊びにも捉えられる。今の町行政では、職員数が少なく、職員の不平不満が多く一町民である私の耳にも聞こえる。町長はじめ、執行部、職員が一丸となり職務に励んでいただきたい。そして建前ではなく、本音で実行力を発揮し実現に向けて取り組んでもらいたい。</p>	<p>自殺対策は全庁的に取り組みを進めていきます。また、関係機関、各種団体とも協働で事業実施していきます。</p>
<p>【発達障がいからくる2次障がいの予防について】</p> <p>発達障がいからくる2次障がいを予防するため、関係機関との連携や、課題共有は必要ではないか。</p>	<p>発達障がいの方への対応については主に障がい者計画で触れておりますが、発達障がい・発達障がいからくる2次障害の予防への理解と関係機関の連携は欠かせないものと考えております。</p> <p>基本施策1④関係機関・団体・企業との連携・基本施策2⑤様々な機会を捉えた啓発の実施に内容を追記いたします。</p>